

ワンバウンドふらばーるバレー

1. ワンバウンドふらばーるバレーとは

おにぎり型のボール（ふらばーる）を打ち合うバレーボール型のスポーツ。
相手からの攻撃をワンバウンドでレシーブするため、ボールの軌道が予測できないのが特徴。

2. 要 項

（1）コート

コートは13.40m×6.10m（バドミントンダブルス用コート）とする。

（2）支柱・ネット

支柱及びネットは、ミニバレー（ソフトバレー）用とし、その高さは2mとする。

（3）ボール

ふらばーるぼーる（小）直径30cmまたは、（大）直径60cmを使用する。

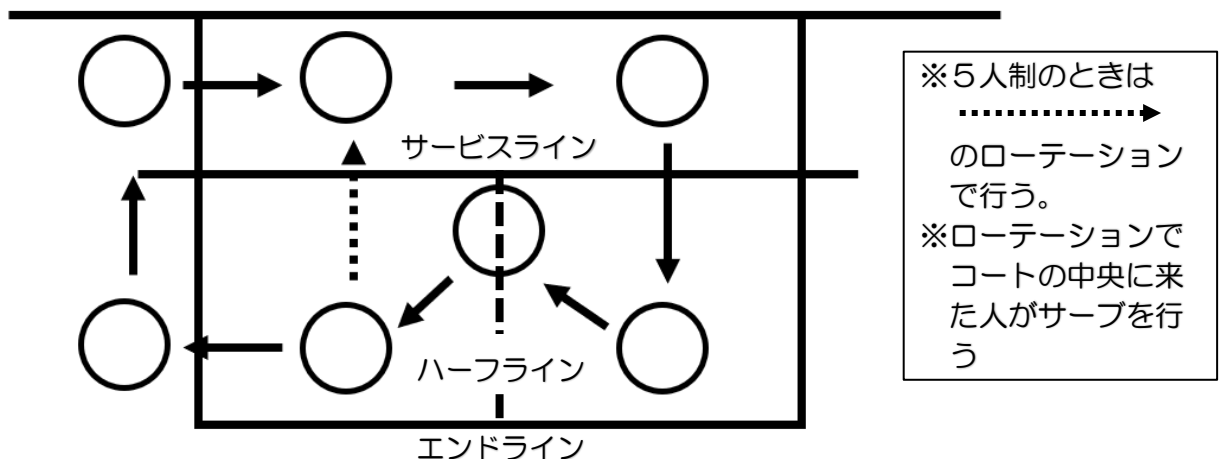
（4）チーム

1セット5名以上7名以下で構成し、参加者のローテーションの対象とする。

（5）競技方法

競技は1セット15点先取りの3セットマッチとし、2セット選手したチームを勝者とする。「じゃんけん」により勝者がサーブかコートを選択する。サーブ権を得たチームは時計回りの方向へ1つずつ移動する。

【ローテーション見取り図】



(6) サーブ

サーブは、コート中央からアンダーハンドで打ち、その回数は1回とする。ただし、コート中央のサービスラインを踏み越えてはならない。

(7) プレー

サーブレシーブは、床にワンバウンド後にレシーブし、その後ノーバウンドで相手コートに計3回以内で返す。また、相手コートから返ったボールも必ずワンバウンド後にレシーブし、その後ノーバウンドで計3回以内で返す。そして、ワンバウンドしたボールがネットに触れた場合は、ネットを離れて床につく前にレシーブをする。3回で返す場合は、必ず異なる3人の手を経て相手コートに返す。3回目にボールがネットに触れて自分のコートに戻ってきたときに限り、あと1回のプレーが許される。

(8) 得点

得点は、9人制バレーボールの規則に準ずる。(ラリーポイント制)

(9) 反則

以下に該当した場合、相手チームはサービス権および1点を得る。

- ① オーバーネット：ボールを相手コート内触れたとき。
- ② タッチネット：プレイヤーがネット又は支柱に触れたとき。ただし、ボールがネットに触れ、このネットが相手チームのプレイヤーに触れても、そのプレイヤーは反則ではない。
- ③ ドリブル：1人で連続してボールに触れたとき。
- ④ ホールディング：ボールを持つ、またはつかんだとき。
- ⑤ フットフォルト：サービス時、ハーフラインを踏んでいない。またはサービスラインを踏んでいない。サービス時、サービスライン及びエンドラインを踏んだとき。
- ⑥ インターフェア：相手チームのプレイヤーに触れる等、相手チームのプレーの妨害をしたとき。